

# 青少年 とちぎ

令和4年11月4日

第221号



## CONTENTS

- 1 新任理事長御挨拶
- 2 青少年育成指導員会総会、全体連携会議
- 3 令和4年度親子学び合い事業
- 4 市町村民会議活動報告
- 5 少年の主張県大会
- 7 青少年育成セミナー案内、賛助会員募集
- 8 賛助会員(団体)の御紹介



栃木県青少年育成県民会議  
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議(公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課  
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <https://www.tmf.or.jp> E-mail: [ikusei@tmf.or.jp](mailto:ikusei@tmf.or.jp)

## 御挨拶



栃木県青少年育成県民会議  
(公財)とちぎ未来づくり財団  
理事長 千金楽 宏

令和4年4月に、とちぎ未来づくり財団及び栃木県青少年育成県民会議の理事長に就任いたしました千金楽 宏でございます。皆様方には、日頃から青少年育成事業の推進に当たり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2年半を超える新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、青少年をめぐる環境にも様々な形で影響が及んでおります。マスク生活が日常となったため、相手の表情を読み取ることが難しくなり、友人関係の形成に支障が生じたり、自粛生活や休校の繰り返し等の影響か、青少年の自殺者数が高止まりしたりするなど、これまでと違う課題が見られるようになりました。一方で、子どもたちが対面でふれあう、地域における様々な社会参加活動の重要性、必要性について、改めて認識されたところです。

この新型コロナとは、しばらく、新しい生活様式を踏まえた形で共存していかざるを得ないものと思われれます。また、昨今はヤングケアラー

といわれる子どもたちへの対応や、子どもの貧困をめぐる問題も指摘されております。このような中、青少年を健全に育てていくには、単に家庭や学校だけでなく、地域社会全体で強い意識を持って取り組んでいくことが必要です。

県民会議は、本県における青少年健全育成県民運動の推進母体として、県や市町村民会議をはじめ青少年育成に携わる多くの団体、地域のリーダーとして御活躍いただいております県青少年育成指導員の皆様等と緊密に連携を図りながら、賛助会員をはじめとする多くの皆様の暖かい御支援を得て、「少年の主張発表大会」や「家庭の日絵日記コンテスト」、「県民のつどい」等各種事業の実施を通して、心豊かでたくましい「とちぎ」の青少年の育成に取り組んで参りました。

また、近年のネット社会の急速な進展に対応し実施しております「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」につきましては、非常に多くの学校から御要望をいただいております。今年度は約100校で開催するなど、事業の充実を図っているところです。今年度からは、青少年の抱える今日的な課題を踏まえ、福祉的視点も加えて、子どもたちにどのように向き合っていけばよいのかを改めて考える「青少年育成セミナー」も開始いたしました。

今後とも、青少年を取り巻く状況の変化に適切に対応しながら、更なる活動の推進に役職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様方には、引き続き特段の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和4年度栃木県青少年育成指導員会総会が開催されました

令和4年4月15日(金)にとちぎ青少年センターにおいて約30名が参加して総会を開催しました。

総会では、令和3年度の事業報告、決算・監査報告、令和4年度の事業計画案、予算案が審議され、すべて原案通りに可決されました。

総会後は、第1回自主研修会を開催し、コロナ禍で増えたWEB開催の会議に対応できるようにZoomの使用方法について学びました。実際にZoomミーティングに参加する体験を通じて使用方法を学びました。



## 令和4年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議

6月7日(火)、栃木県総合文化センターにおいて「令和4年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議」を開催しました。3年ぶりに対面での開催となり、各市町村民会議の代表・事務局と青少年育成関係団体の代表約90名が一堂に会しました。

この全体連携会議は青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図るために、県内全市町村民会議と青少年育成関係団体、指導者が集い、より広い運動の連携の在り方を考えるとともに、青少年育成に係る諸問題について意見交換・情報交換を行い、情報の共有を図ることを目的としています。

前半は、まず県民会議からの事業説明後、「社会を明るくする運動」栃木県推進委員会・栃木県子ども会連合会・栃木県PTA連合会・栃木県青少年センター連絡協議会・栃木県青少年指導員会連絡協議会・栃木県教育委員会生涯学習課・栃木県総合教育センター生涯学習部・栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課の各団体・機関からそれぞれ事業説明をしていただきました。



後半は、各教育事務所ふれあい学習課の皆様にはファシリテーターをお願いして、地区ごとにグループ協議を行いました。各市町村民会議の事業で特徴的なもの、コロナ対策で工夫したこと、困っていることなどについて活発な情報交換が行われました。

## 親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～

「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」は、単にインターネットやスマートフォンの危険性を教えるだけではありません。子どもたち一人ひとりが、インターネット・スマートフォンの危険性や利便性などの特性をしっかりと理解した上で、インターネットやスマートフォンをどのように活用して、自らの人生に役立てていくかを主体的に考える、そのきっかけになることを目的としています。本年度も下表のとおり県内の小・中・義務教育学校及び特別支援学校99校で講習会を実施しています。このほか、独自に同様の講習会を実施している市町もあります。

令和5年度の実施希望につきましては、各市町村民会議を通じて募集する予定です。講習会について詳しくは、学校の所在する市町の市町村民会議もしくは当県民会議までお問い合わせください。

### 令和4年度「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」実施校(一部予定)

実施日	学校名	実施日	学校名	実施日	学校名
4月26日(火)	日光市立東原中学校	6月29日(水)	小山市立寒川小学校	7月14日(木)	益子町立田野中学校
4月28日(木)	日光市立栗山中学校	6月29日(水)	真岡市立大内中央小学校	7月15日(金)	那須塩原市立厚崎中学校
5月 6日(金)	下野市立石橋中学校	6月29日(水)	大田原市立薄葉小学校	7月15日(金)	壬生町立壬生東小学校
5月13日(金)	足利市立三重小学校	6月29日(水)	大田原市立石上小学校	7月17日(日)	那須塩原市立箒根中学校
5月17日(火)	那須烏山市立烏山小学校	6月29日(水)	那須烏山市立南那須中学校	7月19日(火)	さくら市立氏家小学校
5月17日(火)	高根沢町立北高根沢中学校	6月29日(水)	市貝町立赤羽小学校	9月 2日(金)	那須塩原市立南小学校
5月18日(水)	栃木県立益子特別支援学校	6月29日(水)	壬生町立稲葉小学校	9月 7日(水)	さくら市立喜連川小学校
5月27日(金)	日光市立中宮祠小中学校	6月30日(木)	真岡市立久下田小学校	9月 9日(金)	鹿沼市立石川小学校
6月 1日(水)	塩谷町立大宮小学校	7月 1日(金)	小山市立豊田中学校	9月27日(火)	上三川町立明治南小学校
6月 2日(木)	小山市立若木小学校	7月 1日(金)	真岡市立物部中学校	9月28日(水)	那珂川町立馬頭小学校
6月 7日(火)	小山市立小山第二小学校	7月 1日(金)	真岡市立中村中学校	10月12日(水)	足利市立毛野小学校
6月 8日(水)	さくら市立熟田小学校	7月 1日(金)	大田原市立野崎中学校	10月12日(水)	足利市立南小学校
6月 8日(水)	市貝町立小貝小学校	7月 4日(月)	鹿沼市立北中学校	10月15日(土)	野木町立野木小学校
6月 8日(水)	芳賀町立芳賀東小学校	7月 5日(火)	鹿沼市立さつきが丘小学校	10月21日(金)	那須町立高久小学校
6月14日(火)	佐野市立天明小学校	7月 5日(火)	日光市立豊岡中学校	10月24日(月)	茂木町立中川小学校
6月15日(水)	さくら市立押上小学校	7月 5日(火)	下野市立国分寺中学校	10月24日(月)	佐野市立犬伏小学校
6月17日(金)	下野市立緑小学校	7月 6日(水)	宇都宮市立城山中央小学校	11月 2日(水)	さくら市立南小学校
6月18日(土)	野木町立新橋小学校	7月 6日(水)	佐野市立佐野小学校	11月 9日(水)	大田原市立佐久山小学校
6月18日(土)	野木町立南赤塚小学校	7月 6日(水)	日光市立湯西川小中学校	11月16日(水)	小山市立小山第一小学校
6月22日(水)	足利市立山辺小学校	7月 6日(水)	大田原市立川西小学校	11月18日(金)	矢板市立矢板小学校
6月22日(水)	栃木市立赤麻小学校	7月 6日(水)	那須塩原市立青木小学校	11月30日(水)	那須町立学びの森小学校
6月22日(水)	栃木市立三嶋小学校	7月 6日(水)	那珂川町立馬頭東小学校	12月 1日(木)	鹿沼市立西中学校
6月23日(木)	栃木市立栃木第四小学校	7月 6日(水)	那珂川町立小川小学校	12月 3日(土)	宇都宮市立五代小学校
6月24日(金)	足利市立けやき小学校	7月 8日(金)	栃木市立赤津小学校	12月 3日(土)	宇都宮市立国本中央小学校
6月24日(金)	鹿沼市立栗野小学校	7月 9日(土)	矢板市立乙畑小学校	12月 9日(金)	矢板市立泉小学校
6月24日(金)	下野市立古山小学校	7月13日(水)	佐野市立流出原小学校	12月14日(水)	佐野市立田沼小学校
6月24日(金)	芳賀町立芳賀南小学校	7月13日(水)	佐野市立吉水小学校	1月25日(水)	さくら市立上松山小学校
6月24日(金)	壬生町立壬生小学校	7月13日(水)	大田原市立湯津上小学校	2月 8日(水)	那須塩原市立東原小学校
6月27日(月)	矢板市立川崎小学校	7月13日(水)	那須塩原市立波立小学校	2月10日(金)	高根沢町立阿久津小学校
6月28日(火)	日光市立清滝小学校	7月13日(水)	下野市立南河内第二中学校	2月10日(金)	小山市立乙女小学校
6月28日(火)	益子町立七井小学校	7月13日(水)	上三川町立本郷北小学校	2月15日(水)	益子町立益子小学校
6月29日(水)	鹿沼市立南押原小学校	7月13日(水)	塩谷町立玉生小学校	2月17日(金)	芳賀町立芳賀北小学校
6月29日(水)	日光市立南原小学校	7月14日(木)	那須烏山市立烏山中学校	2月22日(水)	茂木町立茂木小学校

## 市町村民会議活動報告

県民会議ではこの度、新連載として特色ある各市町村民会議の取り組みを紹介することにしました。コロナ禍で活動が制限される中、それでもいろいろと工夫して取り組まれている事例を紹介し他の市町村民会議にも参考にしてもらい、県全体で青少年育成の取り組みが活性化されることをねらいとしております。

初回は、『宇都宮市青少年育成市民会議』と『佐野市の青少年とともに育つ市民の会』の取り組みを紹介します。

### 宇都宮市青少年育成市民会議

#### 「宮っこの居場所づくり」の推進について

近年、家庭でも学校でもない居場所（サードプレイス）は、子どもが困難に直面したときに支援を求めることができる場所として、国などでも注目されています。

このような中、宇都宮市では身近な地域の居場所において、子どもを見守りながら、支援を必要とする子育て家庭を早期に把握し、個々の状況に応じた支援を行うため、令和4年度より「宮っこの居場所」づくりに取り組んでいます。

「宮っこの居場所」には、市が委託した事業者が生活・学習習慣の支援や親への支援を行う「親と子どもの居場所」と、地域の育成会や任意団体等が主体となって子どもが気軽に利用できる場や遊び・体験などを提供する「子どもの居場所」があり、それぞれの特色を生かして親子や子どもが気軽に利用できる居場所として活動しています。

この「宮っこの居場所」を地域・企業・行政等が一体となって支援していくため、宇都宮市青少年育成市民会議は、市、宇都宮商工会議所、宇都宮市社会福祉協議会と連携して「宮っこの居場所応援連絡会議」を設置し、居場所を支援したい市民や事業者からの金銭や物品等の寄附などの支援の申し出を、支援を必要とする居場所運営者へコーディネートする取組を行っています。宇都宮市青少年育成市民会議は特に地域への居場所の周知活動に協力しています。居場所を支援する官民連携の仕組みは、全国的にはまだ珍しいものです。

今後も宇都宮市青少年育成市民会議では、明日の宇都宮市を担う心豊かでたくましい青少年の育成を市民総ぐるみで推進するべく、様々な活動を実施していきます。



### 佐野市の青少年とともに育つ市民の会

佐野市では、子供たちや保護者の方々にインターネットとのよりよい関わり方を学んでいただくため「親子学び合い事業」を栃木県青少年育成県民会議（以下県民会議）との共催で実施しています。毎年、佐野市内の小中義務教育学校へ本講習会の希望調査を行うと、共催開催枠以上の希望があり、枠から漏れてしまう学校が出てまいります。佐野市ではより多くの学校へ講師の方を派遣できるよう、予算を確保し、佐野市が単独で講習会を開催しています。講習会の佐野市単独開催の流れは以下の通りです。

- 2月 市内小中義務教育学校へ、次年度の講習会希望調査を実施
- 3月 共催開催枠校、佐野市単独開催枠校を決定
- 3月 とちぎネット利用アドバイザー（以下アドバイザー）と市事務局で開催日時を決定
- 3月 アドバイザー派遣依頼書を県民会議へ提出
- 4月 佐野市単独開催枠校へ講習会開催決定通知を送付
- 開催1ヶ月前 アドバイザーと学校との事前打合せ（電話にて）
- 開催後 アドバイザーへ謝金支払い

この流れの中で重要なのは、開催1ヶ月前に行うアドバイザーと学校との事前打ち合わせです。各校、開催のねらい、対象学年、講習会方法等、希望は様々です。学校の要望に合わせて開催することが各校の満足度向上につながっていきます。今後も各校の満足度を高め、子供たちの健全育成の一助となるよう事業を実施していきたいと考えています。



## 第45回栃木県少年の主張発表県大会

栃木県少年の主張発表大会は、県内の中学生が日常生活で感じていることや考えていることを自分自身の言葉で発表することで、若者としての誇りや自主性を育てることを目的としています。また、中学生が自らの主張を広く社会に訴えることにより、同世代の少年たちには社会の一員としての自覚を高めるきっかけとなり、大人にとっては青少年の健全育成に対する理解と関心が深まることをねらいとしております。昭和58年に宇都宮市立旭中学校において「第1回栃木県少年の主張コンクール」として開催して以来、今回で45回目を迎えました。

本年度の大会には県内の中学生12,337名の応募があり、各地区大会には各校代表の162名が参加しました。県大会は9月17日(土)に栃木県総合文化センターサブホールで開催され、8つの地区大会で選ばれた代表16名が主張を発表しました。



今回は、LGBTQなどの多様性やそれに伴う個性の尊重、食品ロスや持続可能な農業の在り方などのSDGsのこと、あるいはボランティア等、現代社会の様々な課題について中学生らしい斬新な観点からのみずみずしい主張が展開され、来場者だけでなくライブ配信を視聴した方にも思いが届いたことと思われまます。

### 【県大会入賞者一覧】

賞	氏名	学校名・学年	題名
最優秀賞	阿久津 結花	大田原市立親園中学校3年	私が育てる「結」
優秀賞 (発表順)	酒井 心愛	鹿沼市立西中学校3年	今、わたしたちにできること
	小菅 日向	那珂川町立小川中学校3年	自分らしく生きる
	櫻井 理登	宇都宮市立旭中学校3年	「命」をいただくとは
奨励賞 (発表順)	小林 日菜	真岡市立久下田中学校3年	つながる
	平本 結心	國學院大學栃木中学校3年	だれかの笑顔のために
	上野 夏希	佐野市立南中学校3年	「私」は私だけ
	武藤 里英	下野市立石橋中学校3年	「一期一会を大切に」
	田中 心優	那須塩原市立西那須野中学校3年	変わるべきは
	狐塚 珠奈	県立宇都宮東高等学校附属中学校3年	相手を想うということ
	松本 凌	上三川町立上三川中学校3年	理解を深めることで何が出来るか
	石崎 心菜	真岡市立真岡西中学校3年	自分らしさを大切に
	片倉 朱里	鹿沼市立東中学校3年	私らしく輝きたい場所
	齋藤 百恵	さくら市立喜連川中学校3年	私の考える幸せ
	角田 里歩	栃木市立吹上中学校3年	多くの人が笑顔になりますように
齊藤 綾香	佐野日本大学中等教育学校3年	生きたいと思える未来のために	

## 最優秀賞



## 私が育てる「結(ゆい)」

大田原市立親園中学校3年 阿久津 結花

お米は、私をたくさんの人と結んでくれます。私の父と祖父は、お米の食味を競う国際大会で最高賞にあたる金賞を受賞しています。ギネス世界記録に認定された「世界最高米」の原料にも選ばれ、日本中からお米の注文が殺到しています。気がつけば、私の夢は世界で一番美味しいお米を栽培することになっていました。

米作りの知識や技術は、もちろん父と祖父から教わりました。苗を強くするための苗踏みや、田植え機やコンバインの運転の仕方。見ていると簡単そうに見えても、自分でやってみるととても難しいのです。背丈が低く根は白く長い稲の方が台風や病気に強いなど、知れば知るほど面白くなっていきました。

小学6年生のとき、小さい田んぼを父から貰いました。お米は原種に近いほうが美味しいと知り、ササニシキの親にあたり、原種に近い「ササシグレ」をそこで作りたと思いました。父の知り合いで会津でササシグレを栽培している人から種を分けてもらえることになり、私の「ササシグレ」作りはスタートしました。苗作りからこだわり、無農薬、無肥料、自然栽培で育てています。毎朝学校へ行く前に除草をしています。作り始めたあとで、「ササシグレ」は血糖値の上昇が穏やかで、米アレルギーの人も症状が発症しにくい、体に優しいお米であるということも知り、一層思い入れが強くなりました。私の「ササシグレ」は年々食味値が上がり、美味しくなっていると感じています。

みなさんは、農業に「つらい」「汚い」というイメージをもっていませんか。実際に農業に触れてみたら、農業の楽しさがわかるはずです。私の田んぼは手植えなので、人数が必要です。去年は私と父と友達一人の三人でしたが、今年はさらに増え、三人の友達が田植えを手伝ってくれました。素足で田んぼに入ることを躊躇していた友達も、終わった頃には「楽しかった」「来年も手伝うよ」と言ってくれました。

こんな風に心を込めて育てた私の「ササシグ

レ」は、今、自然食品を扱うお店で販売しています。販売することが決まったとき、私はパッケージをデザインしました。無農薬、無肥料、自然栽培のイメージをシンプルなデザインで表現しました。このお米が人と人を結ぶことを想像し、稲が輪を描くようにイラストを書きました。そして、「結」と名付けました。

「新米のように美味しい」「また買います」店頭に並んだ私のお米を買ってくださった方からのメールが届きます。会ったこともない人が私のお米を食べて、「美味しい」と言ってくれる。こんなにも嬉しいなんて。本当にお米が人と人とを結んでくれました。生産者が販売者を通して消費者と繋がれるとき、たくさんの方が幸せになれると知りました。もっともこの喜びや幸せを広げたい、そう思いました。

私のお米は、地域の食材を使った料理をキッチンカーで提供している方とも結んでくれました。前回のイベントで好評だったので、次も声をかけてくれそうです。

今、私にはやりたいことがたくさんあります。自分のお米を使った料理を提供するキッチンカーやレストラン。米粉のお菓子の販売もしたい。農作業の体験を通して子どもたちに農業の楽しさを広めたい。いろいろな企画はSNSで発信して、たくさんの人と繋がり、人と人を結びたい。

私を取り巻くこれらの繋がりを作ってくれた父に、繋がりを広げるコツを聞いてみました。「何かを決めると、物事とは動き出すんだよ。小さな一歩を踏み出すことで世界は広がっていく。」と話してくれました。

私も一歩を踏み出します。これからは、自分の考えていること、取り組んでいることを、自分でどんどん発信します。私は、田んぼを照らす太陽のような笑顔と、相手にエネルギーをもたらす魅力的な人になって、人と人を結んでいきます。そこで出会えた人との「結」を大切に、笑顔になる人を増やすために。

## 令和4年度青少年育成セミナーのご案内

青少年を取り巻く環境は、様々な問題が相互に影響し合い複雑で多様な状況であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で一層深刻化しています。

そこで、青少年育成関係者が、青少年の抱える今日的な課題を踏まえ、子どもたちを様々な角度から見つめ直し、青少年にどのように向き合っていけばよいのかを改めて考える機会を提供するとともに、支援方法や関係機関との連携方策を学び、社会全体で青少年の成長を見守り育む環境づくりに繋げていくことを目的に、今年度新たに青少年育成セミナーを開始しました。

第1回は、8月31日(水)にティーアップ講座として、元厚生労働省雇用均等・児童家庭局児童健全育成専門官の柳澤邦夫氏を講師に迎え、「社会・環境の変化と子どもの不安・緊張-50年間に何が?子どものストレスの正体を考える-」と題した講演会を、とちぎ青少年センターとオンラインで開催しました。

さらに10月7日(金)には、2回目として栃木県中央児童相談所参事兼所長の篠原良一氏を講師に、「児童虐待の現状と支援～通告は支援の入口～」と題した講演をとちぎ青少年センターとオンラインで行いました。

今後、第3回として11月24日(木)に那須塩原市ヤングケアラー協議会立ち上げメンバー仲田海人氏に、さらに4回目はまとめとして来年2月4日(土)に再び柳澤氏に講演をお願いする予定です。



### ■ 栃木県青少年育成県民会議からのお知らせ

栃木県青少年育成県民会議では広く  
**「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」**

#### 賛助会員を募集しています

明日の“とちぎ”を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かでたくましく成長することは、県民全ての願いです。

栃木県青少年育成県民会議では、「とちぎ心のスクラム県民運動」の主唱者として、次代の栃木県を担う青少年の健全な育成を目的とし、様々な事業を展開しています。

現在多くの賛助会員の皆様から会費をお預かりして、活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる御支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年の健全育成のために、多くの県民の皆さまに趣旨を御理解いただき、賛助会員としてお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和4年11月

栃木県青少年育成県民会議 理事長 千金 楽 宏

賛助会員数 (令和4年10月現在)	個人	227人
	団体	171団体
賛助会費	団体 (1口)	10,000円
	個人 (1口)	3,000円

■ 加入いただける場合は、<http://www.tmf.or.jp/youth.html>から、「賛助会員加入申込書」をダウンロードしてお申し込みください。

### 栃木県青少年育成県民会議賛助会員(団体)の御紹介

団体会員(50音順・敬称略) 令和4年10月現在 171団体

※個人情報保護のため個人会員の方々は掲載を控させていただきます。

- 足利小山信用金庫
- 足利市更生保護女性会
- 一般財団法人 栃木県青年会館
- 一般社団法人 栃木県連合教育会
- 一般社団法人 ガールスカウト栃木県連盟
- 一般社団法人 栃木県医薬品登録販売者協会
- 一般社団法人 栃木県銀行協会
- 一般社団法人 栃木県経営者協会
- 一般社団法人 栃木県子ども会連合会
- 一般社団法人 栃木県歯科医師会
- 一般社団法人 栃木県商工会議所連合会
- 一般社団法人 栃木県幼稚園連合会
- 一般社団法人 栃木県レクリエーション協会
- 一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会
- 茨城寺岡オート・ドア株式会社
- 医療法人社団 友志会
- 宇都宮西ライオンズクラブ
- 宇都宮文化センター株式会社
- 栄研化学(株)那須事業所
- 栄研化学(株)野木事業所
- 王冠ボウル
- 学校法人東洋育英会 さくら総合専門学校
- 株式会社 暁恒産
- 株式会社 足利銀行
- 株式会社 アメザワ
- 株式会社 井上総合印刷
- 株式会社 エフエム栃木
- 株式会社 オヤマ
- 株式会社 小山
- 株式会社 小山商会 筑波営業所
- 株式会社 島崎酒造
- 株式会社 清水造園
- 株式会社 下野新聞社
- 株式会社 新成エンジニアリング
- 株式会社 太陽警備保障
- 株式会社 大高商事
- 株式会社 高津製作所
- 株式会社 ガスキニューアイドル
- 株式会社 栃木銀行
- 株式会社 とちぎテレビ
- 株式会社 栃木ファミリー
- 株式会社 栃木放送
- 株式会社 プレーン
- 株式会社 本田技術研究所 統括機能本部
- 人事企画推進室 庶務・渉外ブロック
- 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷
- 株式会社 ユーテック
- 環境整備 株式会社
- 菊地歯車 株式会社
- 公益財団法人 産業雇用安定センター
- 公益財団法人 栃木県スポーツ協会
- 公益財団法人 栃木県農業振興公社
- 公益財団法人 栃木県ひとり親家庭福祉連合会
- 公益財団法人 栃木県保健衛生事業団
- 公益財団法人 日本ボーイスカウト栃木連盟
- 公益社団法人 栃木県看護協会
- 公益社団法人 栃木県経済同友会
- 公益社団法人 栃木県獣医師会

- 公益社団法人 栃木県食品衛生協会
- 公益社団法人 栃木県防犯協会
- 佐野ガス 株式会社
- 佐野信用金庫
- 佐野地区金融団
- 下野印刷 株式会社
- 下野市議会
- 社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会
- 社会福祉法人 蓬愛会
- 鈴運メンテック 株式会社
- 鈴木印刷 株式会社
- 住販 株式会社
- 滝沢ハム 株式会社
- 「小さな親切」運動栃木県本部
- 地方独立行政法人 新小山市市民病院
- 中央労働金庫 栃木県本部
- 都賀総合開発 株式会社
- 東亜警備保障 株式会社
- 東京石灰工業 株式会社
- 東石建設 株式会社
- 東石リース 株式会社
- 栃木県PTA連合会
- 栃木県アミューズメント施設営業者協会
- 栃木県医師会
- 栃木県開拓農業協同組合
- 栃木県空手道連盟
- 栃木県弓道連盟
- 栃木県建設産業団体連合会
- 栃木県剣道連盟
- 栃木県興行生活衛生同業組合
- 栃木県公共図書館協会
- 栃木県更生保護女性連盟
- 栃木県高等学校PTA連合会
- 栃木県高等学校体育連盟
- 栃木県高等学校校長会
- 栃木県公民館連絡協議会
- 栃木県古書籍商組合
- 栃木県コミュニティ協会
- 栃木県済生会宇都宮病院
- 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
- 栃木県市議会議長会
- 栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
- 栃木県市長会
- 栃木県市町村教育委員会連合会
- 栃木県社会教育委員協議会
- 栃木県射的協会
- 栃木県柔道連盟
- 栃木県小学校校長会
- 栃木県商工会女性部連合会
- 栃木県商工会青年部連合会
- 栃木県商工会連合会
- 栃木県職場警察連絡協議会
- 栃木県女性団体連絡協議会
- 栃木県書店商業組合
- 栃木県私立中学高等学校連合会
- 栃木県神社庁
- 栃木県信用金庫協会
- 栃木県信用保証協会

皆様からの温かい御支援に感謝申し上げます。



- 栃木県青少年育成アドバイザー会
- 栃木県青少年育成指導員会
- 栃木県青少年クラブ協議会
- 栃木県青少年指導員会連絡協議会
- 栃木県青少年団体連絡協議会
- 栃木県ソフトテニス連盟
- 栃木県ソフトボール協会
- 栃木県卓球連盟
- 栃木県たばこ販売協同組合連合会
- 栃木県地域婦人連絡協議会
- 栃木県中学校体育連盟
- 栃木県中学校校長会
- 栃木県中小企業団体中央会
- 栃木県町村会
- 栃木県町村議会議長会
- 栃木県農業協同組合中央会
- 栃木県バドミントン協会
- 栃木県ハンドボール協会
- 栃木県美容業生活衛生同業組合
- 栃木県保護司会連合会
- 栃木県民生委員児童委員協議会
- 栃木県薬事工業会
- 栃木県遊技業協同組合
- 栃木県ユネスコ連絡協議会
- 栃木県ラグビーフットボール協会
- 栃木県理容生活衛生同業組合
- 栃木県林業振興協会
- 栃木県連合青年団
- 栃木県労働者福祉協議会
- 栃木子どもの本連絡会
- 栃木市青少年問題協議会
- 栃木商工会議所
- 栃木たばこの会
- 獨協医科大学病院
- トヨタカローラ栃木 株式会社
- 那珂川町更生保護女性会
- 中村技研 株式会社
- 那須烏山市更生保護女性会
- 那須塩原市黒磯地区更生保護女性会
- 那須南農業協同組合
- 芳賀赤十字病院
- はが野農業協同組合
- 芳賀町工業団地連絡協議会
- 平石環境システム 株式会社
- 藤井産業 株式会社
- 平成アルミ 株式会社
- 平成理研 株式会社
- 水戸通信工業 株式会社
- 有限会社 荒井モーターズ
- 有限会社 岩井自動車商会
- 有限会社 正栄社印刷所
- 有限会社 高久燃料店
- 有限会社 那須クリーンセンター
- ユーレストジャパン 株式会社
- ライオンズクラブ国際協会333-B地区